



西和賀デザインプロジェクト
Nishiwaga Design Project

岩手県西和賀町 ユキノチカラプロジェクトについて

ユキノチカラプロジェクト協議会 事務局／ブランドマネージャー 加藤紗栄

西和賀町について



- ・ 岩手と秋田の県境、奥羽山脈に囲まれた国指定の特別豪雪地帯
- ・ 四季折々美しい自然、錦秋湖、年間累積降雪量は10メートル
- ・ 2005年（平成17年）湯田町と沢内村の合併により誕生
- ・ 基幹産業：農業（米/花き/野菜/生乳など） 観光（湯川温泉/湯田温泉峡など）
- ・ 人気の特産品・おみやげ：
ブランド山菜「西わらび」「わらび餅」
湯田牛乳「プレミアム湯田ヨーグルト」
どぶろく、幻の漬物「大根の一本漬け」
クラフトビール、老舗菓子店の菓子など

緑と雪・ほっとで健康のまち
西和賀町
Nishiwaga Town



雪あかり

ユキノチカラプロジェクトについて

2015年～「豪雪をまちの力に変える」をコンセプトとした地域ブランド「ユキノチカラ」を軸として、商品開発、販売促進、広報活動を開始。西和賀のヒト・モノ・コトの魅力を伝える広報誌「ユキノチカラ新聞」の発行や、雪国を体験するWS「ユキノチカラツアー」など、多角的なプロモーションを実施。2022年～県立西和賀高校と協働した地域学習プログラム「魅力発見ラボ」を開始。2023年～西和賀町、西和賀産業公社と協働した「地域商社事業」を開始し、ふるさと納税の企画運営を担当し、西和賀町のシティプロモーション的役割を担いつつある。来年2025年で創設10年を迎える。

商品開発



販売促進



広報活動



体験・学び



地元高校
との協働

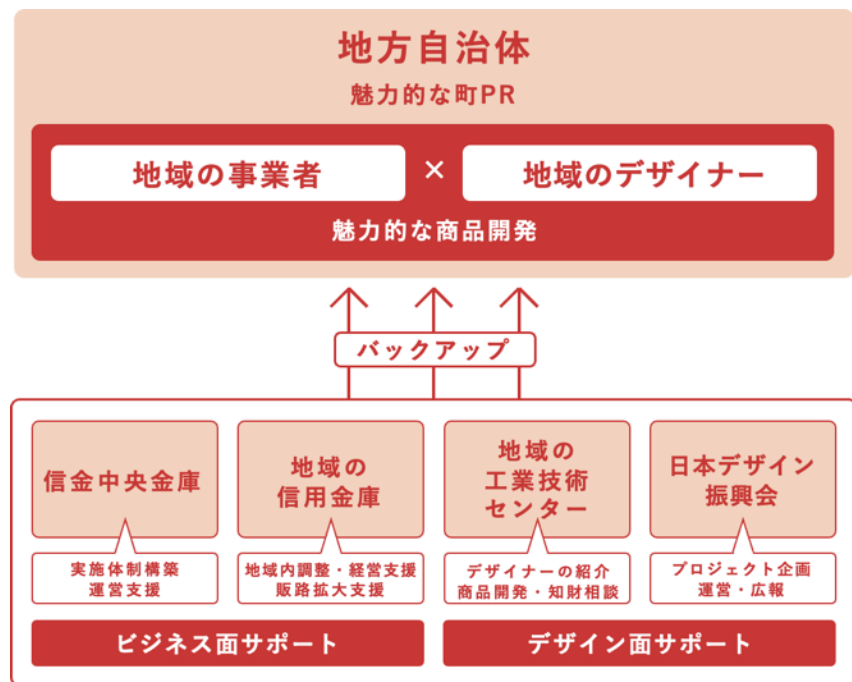
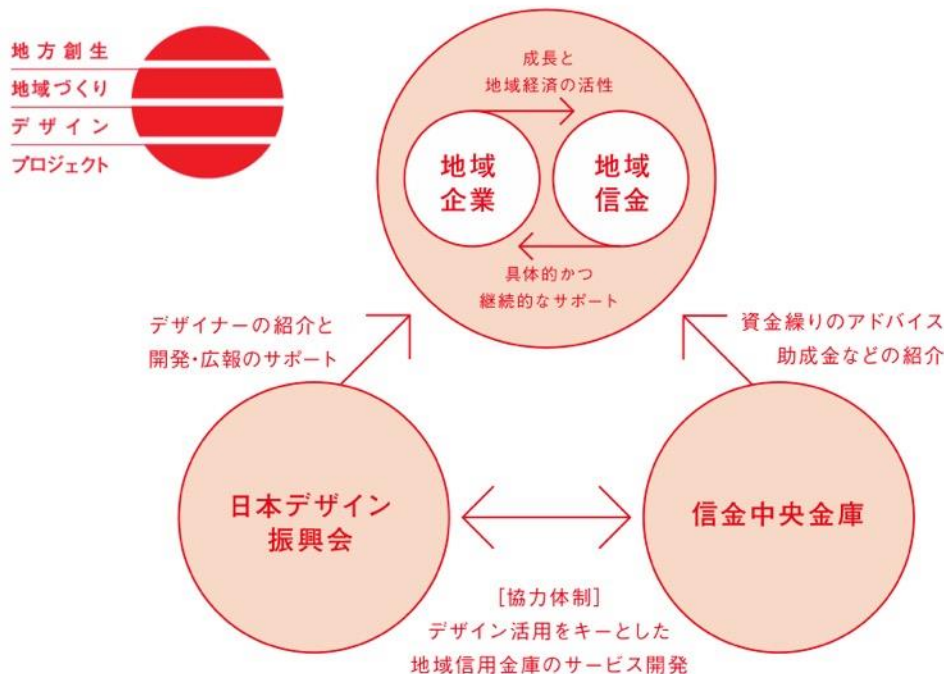


ふるさと
納税



ユキノチカラプロジェクトに至るまでの経緯（2014年）

グッドデザイン賞を運営する公益財団法人日本デザイン振興会のデザインの知見と信金中央金庫の金融の知見を掛け合わせて地域課題を解決する事業スキームを立案。信金中金から全国の信用金庫に募集をかけ、最初に手を挙げたのが北上信用金庫（×西和賀町）。西和賀町では、ふるさと納税や6次産業化の推進にあたり、町外でも通用する地場産品開発の必要性を感じていたことから、地域のリサーチ、取り組み体制の調整を経て、プロジェクトを開始した。



「地域 × ビジネス × デザイン」 3つの視点を掛け合わせた地域課題解決のプロジェクトへ・・・

ユキノチカラプロジェクト立ち上げ期（2015年～2017年）

事業開始におけるリサーチにより、地域事業者がモチベーション高く、質の良い商品を作っていること。また少人数での経営のため、営業や広報が足りていないことがわかった。そこで、デザインによる商品の魅力強化、地域一丸となってプロモーションを行う「地域ブランド」の立ち上げ、地域内外の機関と連携した営業・広報活動を目指してプロジェクトを開始した。

<2015年スタート時の体制図>

地域事業者 × 岩手県デザイナー：
地域資源を活かした魅力的な商品開発

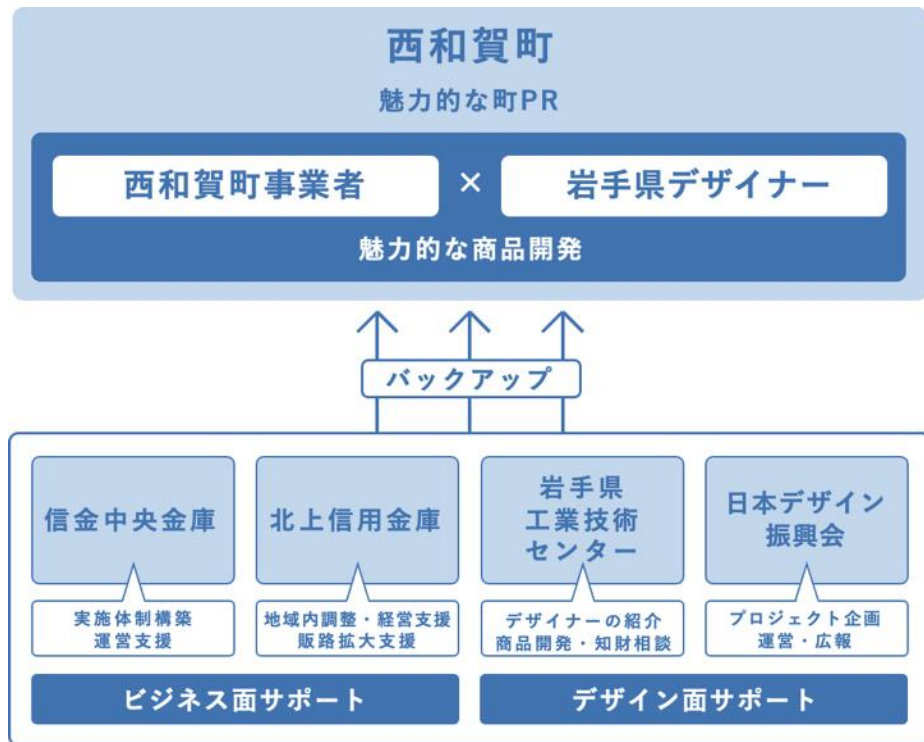
西和賀町
商品を通じて魅力的なまちをPR

信金中央金庫
実施体制構築・運営支援

北上信用金庫
地域内調整・経営支援・販路拡大支援

岩手県工業技術センター
デザイナーの紹介・商品開発・知財相談

日本デザイン振興会
プロジェクト全体の企画・運営・広報



ユキノチカラプロジェクト協議会設立（2019年～）

2015～2017年度の3年間で立ち上げに活用した国の交付金が終了し、町の事業から離れ、事業者主体で実施することになった。1年間の調整を経て、本事業で商品開発を実施した町内13事業者により協議会を結成（2019年）事務局を町の第三セクターである西和賀産業公社が担当。2020年に加藤が日本デザイン振興会を退職して西和賀町へ移住し、以後事務局を担当。

現在の体制

ユキノチカラプロジェクト協議会

プロジェクト参加事業者

- ・農事組合法人アースコネクト
- ・いわてにしわが南部かしわプロジェクト
- ・お菓子処たかはし ・工藤菓子店
- ・山岳工房Korva ・サンタランド(株)
- ・巣鴨養蜂園・とうふや源助
- ・(株)西和賀産業公社・ヘリオス酒造(株)
- ・やまに農産(株)
- ・雪国のだんご屋 団平 ・(株)湯田牛乳公社

委託

ブランドマネージャー

バックアップ

オブザーバー

西和賀町

北上信用金庫

<成果>



2021年

おうちで雪あかりセット

ふると名品オブ・ザ・イヤー2021

「地方創生大賞（モノ部門）」

（地方創生担当大臣賞）受賞



2022年

ディスカバー農山漁村の宝

第9回選定



ほか

- ・TV、新聞、ラジオ他メディア掲載多数
- ・商品開発&リニューアルの継続
- ・イベント・販売会等への積極的な参加

上記活動により、西和賀町のPR、また、町民のシビックプライドの醸成にも繋ぐ



信用金庫との関わり

北上信用金庫には、商談会、販売会などの紹介、出展サポートほか、販促営業活動について、継続して協力をいただいている。また、今年2024年2月から3月までの2ヶ月間限定で東京・上野に出展した西和賀町初のアンテナショップ「ユキノチカラ POP UP ストア in 東京・上野」は、北上信金、信金中央金庫、朝日信用金庫の3者による連携・協力があり実現に至った。

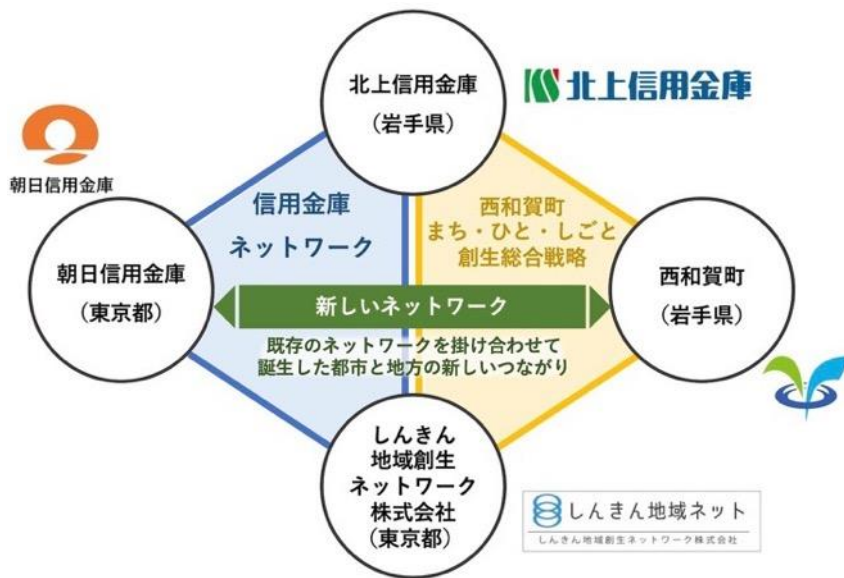
イベント出展



2022.10.14
さわやか信金物産展 -Re start-
@東京都 羽田コングレスクエア

ほか、多数出展

ユキノチカラ POP UP ストア in 東京・上野



今後の展開について

東京でのアンテナショップ「ユキノチカラ POP UP ストア」をきっかけに、県内の百貨店や複合施設からの出展依頼が増え、「西和賀町＝ユキノチカラ」というイメージが町内外に定着しつつある。また地域商社事業やふるさと納税の運営により、販売体制や町内事業者との協力体制が整ってきた。農産物、加工品、工芸品など、西和賀町の物産を包括する総合ブランドとしての展開を目指す。また、将来的には町の観光の目玉となるフロントショップとしての実店舗展開を模索中。

